

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトサンギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107500
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	国際キャリア開発リサーチA
	学部・研究科等名	国際関係学部
	担当教職員名・役職	吉川 敬介 准教授(国際関係学部)
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	24
	受入企業等数	1
	受入企業等名	株式会社スパイスアップ・アカデミア
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	3.海外でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	PDCAによる現地でのマーケティング、商品開発、商品販売活動
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	「国際キャリア開発リサーチ」科目は、国際的な活動を行う公的機関・民間企業等と連携し、プロジェクト研究や問題解決型研究に取り組み、社会人に求められる自主性、問題解決能力、情報発信能力、他者との協働をするために必要な調整能力などの形成を図ることを目的とする。 「国際キャリア開発リサーチA」は、カンボジア(プノンペン/シムリアップ)において、商品企画・販売ビジネスを体験するプログラムである。そして、東南アジア後発開発途上国での採用・人事の実務、マーケティング、PDCAサイクルなどのビジネスルーチンの実践を通じて、途上国での起業とその運営の実態について学習することが、本プログラムの目的である。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	現地カンボジアの情勢や社会経済環境を理解する学習
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	実習期間中に、Teamsを活用して随時連絡・共有を行い、必要に応じてオンライン面談を行っている
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	東南アジア諸国ならびに当該地域の国際関係や現状に関する学習、研修先カンボジアの歴史や政治経済とその近況に関する学習、社会調査の実施方法と海外渡航および海外実習における危機管理学習、実習先での調査計画作成と出発直前の最終確認を実施。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	現地実習における取組内容や振り返り、その成果を整理する。また、出発前学習・現地実習の内容整理をふまえた報告書を作成し、それをまとめた活動報告発表を行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	実習期間中に、Teamsを活用して随時連絡・共有を行い、必要に応じてオンライン面談を行っている
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	受講動機ならびに事前学習を通じて、現地実習以前での自分のキャリアに対する考え方や向き合い方をオンラインツール(forms)で回答する。そして現地実習実施後の報告書作成において、現地実習を通じて得た問題解決・調整能力、そしてそれを身につけたことによって生じたキャリアに対する考え方の変化について必ず言及・記述させている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	2週間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	カンボジア(プノンペン・シエムリアップ)のサムライカレーにおいて2週間の就業体験を実施した。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	大学と受入団体間で協議を重ね、実施プログラムの内容と決定内容に関する覚書を交わしている。また事前学習1回では受入企業のスタッフが授業に参加し、現地実習に関する最新の情報共有と準備事項を共有してもらい、大学と受入団体と共同でプログラムを進めている。また現地実習時には受入団体によってプログラム参加度・達成度を評価してもらい、事後学習を通じて実習成果を学生にフィードバックしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2023/2048.html">https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2023/2048.html</a> <a href="https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/ir/outline.html">https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/ir/outline.html</a> <a href="https://www.kyoto-su.ac.jp/news/2023/1r/20230912_177_news.html">https://www.kyoto-su.ac.jp/news/2023/1r/20230912_177_news.html</a> <a href="https://www.kyoto-su.ac.jp/news/2023/1r/20231102_186_news.html">https://www.kyoto-su.ac.jp/news/2023/1r/20231102_186_news.html</a>
問い合わせ先	大学等名	京都産業大学
	担当部署名	国際関係学部
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-705-3231
	メールアドレス	<a href="mailto:ir-jim@star.kyoto-su.ac.jp">ir-jim@star.kyoto-su.ac.jp</a>